

平成十八年三月一日発行

# 会報

第三十八号

社団法人・岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会

## 挨拶



### 理事長 下佐 征昭

改革の波が行政ばかりか政界にも波及し大きなうねりとなり、先の衆議院員選挙も様変わりしました。又、規制緩和が却って耐震強度偽造問題に見られるように、独立・中立であるべき建築確認検査を民間に委託、国は責任を回避した結果、多くの人々の生活の夢と希望を奪い不安と失望に落とし入れた。「官から民へ、民のできることは民へ」のワンフレーズでなく、じっくり腰をすえた施策が望まれます。明るさが見えてきた経済情勢に波及しなければと心配しています。

会員の皆様には、どのようにお過ごしでしょうか。ここに平成17年度版、会報38号をお届けいたします。

さて業界の最近の取り組みについて紹介します。

昨年の9月定例県議会において、「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律並びに関係法令の遵守と違法者取締りの徹底強化について」を採択して頂きましたがその後の行政指導にもかかわらず依然として無免許者のマッサージ行為が行われている実状です。

これからは対策の対象を無免許者及びその業者から、患者や一般住民に訴えるような方向に転換し次のような項目を行政当局に要望書として提出し検討をお願いしました。

- 1、県庁及び保健所のホームページに無資格者によるあん摩マッサージ指圧等について県民に注意を促す文書の掲載。
- 2、街おこし事業の一環としての空き店舗にマッサージ等無資格者関連の事業者に対し公的補助をしないよう指導をお願いする。

- 1 -

- 3、公共施設の館内利用に対し無資格者によるあん摩マッサージ指圧関連事業者には貸館しないようお願いする。

以上のようなことに加えNTTタウンページ掲載問題、起業者の美談として無免許者マッサージ業をテレビや新聞での報道、ハローワークの求人募集内容の問題、無免許者を養成する施設の虚偽広告など類似した関連の問題が山積しております。引き続き注視し対策を講じていかなければなりません。

全鍼師会では今までいろいろな運動を展開してきましたが目に見える成果がなく、最期の手段として、いよいよ法改正に向けて動き出す事になりました。現実には厳しいのですが、取りあえず各都道府県出身の国会議員の署名をもらい国会において議員立法で提出する事が予想されます。県としても支援をしながらその実現に協力していきたいと思っております。

最近の業界の一端を紹介し私の挨拶とします。

平成18年2月

## 目 次

挨拶	理事長	下佐 征昭	1
山本副理事長医療功労賞受賞			5
庶務日誌	総務部	小野田 サヨ子	5
通常総会報告	総務部長	小沢 信男	7
全鍼師会長会議報告	理事長	下佐 征昭	9
東鍼連理事会報告	理事長	下佐 征昭	11
東鍼連代議員総会報告	代議員	古舘 吉弘	13
学術研修会報告	副理事長	山本 孝一	15
青年部報告	青年部長	佐藤 明	16
保険部報告	保険部長	伊藤 庸一	19
学術論文		佐藤 明	22
全国各地で賠償事故多発			25
平成 17 年国内・県内十大ニュース			26
各師会の活動状況及び会員の消息			26
盛岡・花巻・北上・水沢・一関・大船渡・釜石・宮古			26
久慈・二戸			32
編集後記	事業部長	山本 孝一	34

余白

## 山本孝一氏が岩手県保健医療功労賞を受賞



昨年の中村氏に引き続き平成16年10月25日、現総括副理事長の山本孝一氏が岩手県知事から保健医療功労賞を受賞しました。心からお喜び申し上げます。

氏は昭和52年、二戸市福岡に治療院を開設するとともに28年の長きにわたり地域住民の保健治療に専念しながら、いつも組織の発展に目を向けその育成と推進に尽力いたしました。平成元年から副理事

長の任を務め、口数は少なく緻密で客観的な判断のもと地に足のついた堅実な業務を推進してきました。

そして理事長の私と常務理事や理事の連絡調整に奔走し、岩手県の鍼、灸、按摩マッサージ指圧に関する振興発展のために尽くしました。その間、二戸師会長、常務理事に携わっておられ会務と業務の多忙を極め一時、体調を崩しましたが視力の低下にもかかわらず持ち前の気力でそれを克服した。

氏は現在も元気で仕事に励み献身的に本会の業務に係わり重責を担っています。そしていつも何かと陰で支えて下さっている奥さんに感謝しながら紹介といたします。

誠におめでとうございました。

(文責 下佐 征昭)

## 平成十七年度 庶務日誌

(平成十八年一月一日)

総務部 小野田 サヨ子

平成17年

- 4月20日 第一回正副理事長会議開催(視福会館)
- 5月15日 平成十七年度全鍼師会定期代議員総会・通常会員総会並びに東鍼連平成十六年度第3
- ～16日 回理事会が開催され、山本・佐々木両副理事長が出席(東京 京王プラザホテル)
- 5月22日 平成十七年度第六十四回通常総会開催(一関 サンルートホテル)
- 5月23日 第五回保険部青年部共催研修会開催(同上)
- 5月30日 平成十六年度事業報告書を県知事宛提出
- 6月10日 無免許者取締りに関する要望書を、岩手県警本部長宛に県議2名と共に佐々木無資格者対策委員長、前川・伊藤両委員が提出、徹底取締り強化を要望する。
- 6月18日 第二回正副理事長会議開催(視福会館)

- 5 -

- 7月17日 全鍼師会大会 in 古牧が開催され、第五十九回東鍼連通常代議員総会が同時開催され、平成十七年度第一回理事会、保険担当者会議、青年女性部長会議等に下佐、山本正副理事長、伊藤・佐藤の両部長、古舘会員等が各出席(三沢 古牧温泉)
- 8月 7日 第一回常務理事会開催(労福会館)
- 8月20日 全鍼師会より、衆議院選挙に伴い自民・民主両党に対する協力要請があり同意する。
- 9月18日 山形県鍼灸マッサージ師会創立八十周年記念式典に祝電を送る。
- 10月 2日 三団体共催の学術研修会開催(盲学校)
- 10月 4日 平成十六年度公益法人の事業現況調査書を県知事宛送付す。
- 10月16日～17日 第三十一回日東医学会学術大会が開催され、菅野・前川会員が出席(熱海 後樂園ホテル)
- 10月20日 全鍼師会より過去五年間の活動内容についてのアンケート以来があり回答す。
- 10月25日 医療功労者として山本副理事長が県知事表彰さる。
- 10月29日～30日 東北青年女性交流会が開催され、佐藤青年部長出席(郡山 月光温泉)
- 11月13日 全国師会長会議が開催され、下佐理事長出席(東京 京王プラザホテル)
- 11月17日 無資格者対策に関して、公共施設の貸館並びに民間施設の貸店舗を断るようにとの要

望を県議田村氏・前県議吉田氏に依頼す。

1 1月19日 正副理事長会議開催（視福会館）

1 1月20日～21日 東北ブロック保険部長会議が開催され、伊藤保険部長出席  
（松島 ホテル壮観）

1 2月20日 無資格者対策について、田村県議に同席して頂き、県保健福祉部医療国保課長に県のホームページへの掲載、公共施設の貸館、民間貸店舗を断るよう嘆願する、山本副理事長、佐々木無資格者対策委員長、前川委員出席。

平成十八年

1月 9日 第二回常務理事会開催予定（繋 清温荘）

2月11日 第四回正副理事長会議開催予定（視福会館）

3月19日 定例理事会開催予定（労福会館）

- 6 -

## 平成十七年度 会員動向

項 目	月 日	師 会 名	氏 名
入会者	4月18日	盛 岡	佐々木 裕樹
	5月 2日	水 沢	後藤 順哉
	6月 8日	花 巻	倉田 伸也
		盛 岡	米澤 真奈美
	9月19日		渡辺 豊彰
		盛 岡	波紫 康人
退会者	4月 4日	盛 岡	高橋 啓二
	4月18日	久 慈	岩本 芳弘
	5月 3日	盛 岡	山下 シズ
		水 沢	千葉 治子
	10月1日	釜 石	上田 博也

## 平成十七年度 通常総会報告

総務部長 小沢 信男

第64回通常総会が平成17年5月22日（日）午後1時より岩手の南玄関とも言われる合併間近の一関市駅前の「ホテルサンルート一関」に於いて開催された。

総合司会は総務の小野田サヨ子氏が担当され、開会に先立ち資格確認が行われ会員総数117名中出席45名委任状63名、計108名の出席となり定款に基づき総会は成立したと報告された。

続いて筆頭副理事長山本孝一氏の開会の辞により総会が開かれた。

まず理事長挨拶のあと、来賓には一関市長（代理福祉部長及川氏）と一関市議会議員神崎浩之様のお二方のご祝辞を頂き、そのあと当業界の石川文治先生にもご挨拶を頂きました。セレモニーのあと執行部より進行について会場に諮り会員より執行部一任の声があり議長古舘吉弘氏（二戸師会）副議長鈴木富夫氏（一関師会）記録人佐藤明氏（大船渡師会）、議事録署名人に中村哲夫氏（盛岡師会）山本孝一氏（二戸師会）とそれぞれ選任され、さっそく議事に入った。

(議事内容はページ数の関係から簡単に報告させていただきます)

第1号議案の理事長会務報告では、医療功労者表彰について、無資格対策について、医療過誤について等々、11項目にわたり報告され、各種会議報告では全鍼師会の古牧大会の案内もされた。会員からの質問、意見もあったものの報告通り承認された。

第2号議案の各部報告では総務部、事業部、保険部(共済)、青年部と順次報告されたあと今年度設置された三つの特別委員会のうち無資格対策委員会(委員長佐々木金男)、保険取扱い推進委員会(委員長伊藤庸一)の二つの委員長報告があった。会員から無資格を助長するような行政等、施設の貸館規制など関係施設にお願いする文書の雛形を執行部で作成し各師会に配布してほしい旨の要望もあったが以前に、あはき推進協から発行されてあるので、それを参考にしてほしいと答弁があった、これ以外にも質問はあったが報告通り承認された。

第3号議案の平成16年度収支計算ならびに監査報告では、会員数の減少により収入減となったが、会報の作成費や役員の旅費等、節減につとめた結果、次年度への繰越金をうみだすことが出来たと報告された。また監事から内外の監査指摘に従い改善努力が見られると評価され17年度に向けても2、3の指摘があった、これもあまり質問なく承認された。

第4号議案の定款並びに運営規定一部改正については国及び内部監査指摘にともない三つ目の特別委員会(定款改正委員会中村哲夫委員長)が設置され実情にあった改正が検討され、ここに提案された。会員から2、3の質問があったが委員長提案通り承認された。

第5号議案、平成17年度事業計画案は各部からの説明がなされ事業の拡充と会員の参加協力と強化が不可欠と確認し原案通り承認された。

第6号議案、平成17年度予算案では担当者から会員数の減少から緊縮予算はさけられない、しかし出すところには出すと説明し、今後先細りが懸念されるが会費値上げをさけるために会員皆さんが一人でも多く会員の勧誘をお願いしますと切に求め議案は承認された。

第7号議案、平成18年度通常総会開催については盛岡、岩手労働福祉会館で本部開催となりますと総務より提案され原案通り承認されました。

第8号議案、その他では会員から執行部側の報告等説明が長すぎ質問時間が少ない検討してほしいと要望があった。

以上で総会は午後4時、山本副理事長によって閉会された。

総会終了後、一関師会主催で特別講演「鍼灸マッサージと介護予防との関わりについて」と題して一関市議会議員(社会福祉士)神崎浩之先生の講演があった。

午後6時からお待ちかねの懇親会が賑やかに盛大のうちに終わった。

二日目は保険部と青年部の共催による研修会が行われ、この二日間は有意義でした。それには一関師会の千葉会長はじめ地元師会会員皆さんの準備等大変ご苦勞されたことと思い本部執行部一同感謝いたしております。

## 岩手日報掲載「無免許許さず」 県鍼灸マッサージ指圧師会総会

県鍼灸マッサージ指圧師会（下佐征昭理事長）は二十二日一関市内のホテルで二〇〇五年度通常総会を開いた。約五〇人が参加し、事業計画などを承認した。

下佐理事長は「免許を持たずにマッサージを行う無免許者への対策などに引き続き取り組んでいきたい」とあいさつ。〇四年度の収支監査報告に続き、〇五年度の事業計画、収支予算が示され、承認された。〇五年度は

▽老人保健施設へのマッサージ奉仕活動

▽介護福祉に対応できるマッサージ師養成研修—などに取り組む。

## 平成十七年度都道府県師会会長会報告

理事長 下佐 征昭

11月13日（日）午前11時より東京西新宿「京王プラザホテル44階・ハーモニー」に於いて43師会会長（欠席委任状：秋田・福島・東京・広島）を迎えて開催された。

執行部常任理事11名全員が出席した。

杉田会長挨拶「色々関心事も多く、医療制度改革案の中での心配事、保険制度の中で我々の医療はどうなるのかということ。免責制度は脅威である。反対が多く今回は除かれる模様である。

- 9 -

国民医療推進協議会の署名運動の協力、療養費の取り扱い、医師の同意書ありきで、医師会への協力も必要であると思っている。全国の請願をまとめた冊子を資料として活用願いたい。国会請願に使う、紹介議員を多く集め、請願に横を向かないようにしたい、選挙区1名の紹介議員と国民署名簿をつける。署名については後日願います。会員証を来年度発行する、日常使用できるより良い有効な会員証としたい。鍼灸需要喚起委員会と同じく、マッサージについても検討する」と述べた。

議長団に中野義雄（徳島県）、前田利信（熊本県）の両氏を選任して議事が進められた。

議題は

イ. 本年度上期各部局の活動報告と下期計画について。

事前に配布された資料の追加補足説明のあと、医道審議会あはき柔整分科会の委員に療術師会が入っている件、療養費の受領委任の件、介護予防への参画の件、保険医療改革など真剣な質疑応答がされた。

ロ. 各師会提出要望、議案等について。

石川県師会

1. 来年度に大幅な保険の改正がありますが、現在わかっている範囲で教えていただきたい。また介護保険の改正についてもお願いいたします。

愛媛県師会

1. 中央並びに地方において、医師会とのかかわりを強化する。

全和歌山県師会

1. 政治力強化のための政治連盟の資金集めと使い方について。

千葉県師会

1. 介護予防の組織作り。
2. 無資格・無免許者の取り締り、告発、摘発の持っていき方。

近畿ブロック

1. 7社協統一ロゴマークについて。
2. 鍼灸マッサージを考える国会議員の会について。
3. 無資格無免許対策について。

福井県師会

1. 医療制度改革試案を踏まえ、鍼灸療養費申請時の同意書（診断書）改革案について。

兵庫県師会

1. 同意書のスムーズな発行を厚労省、日本医師会に常に働きかけて欲しい。
2. 全鍼師会ホームページの更新で各師会の会員治療院紹介にリンクできるよう作成願いたい。

- 10 -

3. マッサージ師養成学校の新設を法改正と共に要望したい。

各々要望議案について討議をおこない、理解と取り組みの方向を確認した。

ハ. その他

岐阜県師会＝芦野純夫厚生教官の講演企画を要望する。

協同組合＝名刺用ロゴマークシールを見本として配布した、シール100個を1シートとして1000円で販売と購入取りまとめのお願い。

以上全ての議案について審議を終了した。

(全鍼師会記録から転載)

## 平成十七年度東鍼連理事会報告

理事長 下佐 征昭

日 時 平成17年11月27日（日）AM10:00~PM4:00

会 場 仙台市福祉プラザ（仙台市青葉区五橋二丁目 12-2）

出席理事 青森県・笹川隆人、岩手県・下佐征昭、秋田県・小松田泰、山形県・松田吉男、  
宮城県・東山 寛、福島県・梅宮光男、事務局長・熊谷 功、  
福島県師会事務員・鈴木「会長の付き添い」、財務局長矢沢庄佐（病欠）、以上8名

司会者 下佐征昭

書 記 熊谷 功

資格確認 熊谷 功事務局長

開会宣言 東山 寛・宮城県師会会長

会長挨拶 梅宮光男

議 題

- 1、理事会、総会の懸案事項の処理

梅宮会長 全鍼師会に平成17年8月2日にFTA、交渉あ・は・き法等に関する要望書書送の件を〔代読福島県師会事務員・鈴木〕

東鍼連における組織強化活動は各県師会会長を窓口とし各青年女性部と連携しながら情報交換を行い対応する。〔代読福島県師会事務員・鈴木〕



- 2、平成17年度事業執行と会務報告  
梅宮会長事業執行案報告と熊谷事務局長会務報告
- 3、平成17年度予算執行案と会計中間報告  
財務局長病欠の為梅宮会長、熊谷事務局長により報告
- 4、各県活動報告

- 11 -

- 福島県 4月第4週総会、6月5日幹部研修会、8月9日はり灸の日ポスター作成  
10月2日第二回学術講習会及び臨床研究発表会開催、11月会報発行及び保険取り扱い講習会開催
- 宮城県 5月末総会、7月介護保険、医療過誤についての講習会開催、8月訪問リハビリについての研修会開催、はり灸の日イベント実施
- 青森県 7月17日～18日第4回全鍼師大会イン青森と並行して東鍼連大会開催
- 秋田県 平成19年の国体に合わせてスポーツトレーナー6名体協より派遣要請に応えられるように養成講習会開催
- 山形県 5月第4週総会開催、9月18日創立80週記念大会開催「松田理事より御礼の挨拶有り」
- 岩手県 1. 定款改正、無免許者対策及び保険推進委員会を設置、各々精力的に取り組んでいる  
2. 学術研修会開催

#### 5、会則改正点の確認

役員を選任(第7条1項)、会議及び構成(第12条3項)の改正点の確認方を司会者「下佐征昭」の読み上げにより再確認訂正した。

梅宮会長が会計年度変更「9月1日～8月31日」の確認に付いて各理事に再確認を問う。

#### 6、顧問及び相談役の推薦に付いて

顧問は今まで通り阿部正俊国会議員、相談役は渡邊一男先生を9月開催の代議委員会で承認を経て会長が委嘱する事に理事全員の承認を得た。

#### 7、福島大会の進捗状況に付いて

梅宮会長より日時、会場、福島県に助成金要請書発送の件、学術講演の講師を国立身体障害者リハビリセンターの芦野先生を要請等報告有り。

#### 8、各県提出議題に付いて

全国保険者担当者会議に於いて要望が出た提案に付いて東北鍼灸マッサージ師会保険部ブロック長・佐藤一氏よりメールにて提案された議題、臨床研修「インターン」制度委員会(仮称)に付いて主旨は理解出来、非常に良い提案だが、もう少し具体的内容が明確でないので継続的な検討課題として保険部会を中心に肉付けして頂き、再検討するとの事で全理事が一致をみる。

#### 9、その他

梅宮会長より第60回代議委員総会福島大会、及び第30回学術講習会を記念大会にしたいとの

- 12 -

提案が有り、渡邊一男前会長に感謝状贈呈、学術講習会発表者と各県師会から2名を限度として東鍼連功労者を選考して表彰状を授与する事に全会一致を見る。

青年女性部長会議から平成18年度、11月25日(土)～11月26日(日)開催の件、名称変更の件「東鍼連〇〇交流会」、介護保険ネットワークの件(リストを作り情報交換する)を笹川理事が代読する。

東山理事より各県師会開催の学術研修会、講習会等の開催要項等の情報を交換MLに流して欲しいとの要望有り善処する事で一致する。

閉会挨拶 松田吉男・山形県師会会長

(事務局記録より転載)

## 平成十七年度東鍼連代議員報告

代議員 古舘 吉弘

平成17年7月18日(月)、青森県三沢市古牧温泉第4グランドホテル天竜閣において、第59回通常代議員総会が午後一時より開催されました。

今回は、全鍼大会と重なり、通常の学術発表などは取りやめになりました、各部の会議も全鍼大会の空き時間を利用して行われました。岩手からは付き添いを含め25名参加しました。

午前まで全鍼大会が行われましたが疲れているにもかかわらず多数の会員が出席されておりました。岩手の代議員として、山本孝一氏、古舘吉弘氏が出席しました。

本来ですと、今年は福島が当番県となっておりますが、全鍼大会を青森で開催するという事で、都合上同時開催となりました。

笹川青森県師会長の総会司会で定刻通り開会されました。

杉田全鍼師会長の挨拶等開会セレモニーがあり、議長には、福島県師会の熊田泰治氏を、また、副議長には山形県師会の阿部健二氏が選任された。

第1号から第3号まで 平成16年度事業、決算、監査、各部報告事項は一括上程されすべて承認された。

4号から5号まで、平成17年度事業並びに予算案に関する件すべて承認された。

- 13 -

次に、第6号議案は各県提出議題で「宮城県師会」から次の3点が提出された。

一点目

あはき法等の改正、無免許・無資格問題。東鍼連決議として法改正を、国民福祉の立場に立って早急に取り組むことを提言する。

また、請願採択事項の意向を求めて監視強化と意見書の実行化を求める。

二点目

保険取り扱い問題、平成16年10月1日付、保発1002号通知に関わる鍼灸施術に関わる療養費の取り扱いに関する留意事項等の第3章において、医師の同意書診断書の取り扱いの項目の中で同意を求める医師は原則として当該疾病に関わる主治医の医師がすることという一文があるわけですが、この一文によっていろんな障害が出ています。今後保険取り扱いに支障がないように全鍼においてもまた、東鍼連としてねばり強い交渉をお願いしたい。

### 三点目

F T A交渉、耐式マッサージ問題、 あはき法等の整備がされない限り反対という決議をしてほしい。  
以上三点の決議を要望します。

秋田、丸山代議員より質問があった。

保険取り扱いについて、主治医の医師の部分で全国の保険担当者会議でこのことについてもめていたようですが、吉井保険局長が言われたようにこの文章があるか、ないかで具体的にどういう弊害があるのでしょうか。

事務局から答えがあった。

これは、全国的にも関西を中心にしてこの同意に関して主治医の医師というようなことの解釈を巡って行政及び保険者が同意書の信憑性といいますが、解釈についてトラブルが現に生じているわけです。どういうことかということ、保険者は実際に治療を行って、なおかつ効果がないと認めた上で同意しているのかどうかということ、同意した医師に対して問い合わせをしているところが増えている。医師が善意で患者さんが希望しているからということ、同意をしたケースの場合に対して保険者は、それでは通知通りにやっていないということで認めないということになっています。

ですから、同意に対しての保険者、もっと突き詰めていけば日本政府厚労省は医療費の支給を削りたいわけです。

この文面が在ることによって保険者はこれは同意とみなさないというような動きになっていることが一点です。

- 14 -

もう一つは、市町村や各組合などから医師の方に問い合わせが行きます。、問い合わせを受けた医師はそれ以降こんな煩わしいことはしたくない、同意を見合わせたいので自由診療でやったらどうでしょうかと、というようなケースがあるようです。

それが、今回厚労省通知によってさらに増えていますし、これからもっと、増えるのではないかとされています。これに対しても疑問を抱いているわけです。

厚労省との交渉をきちっとした形で進めていただきたいというようなことを東鍼連としても全鍼師会の方に要望していただきたい。そこで提案したわけです。

ほかに、二つほど関連の質問もありましたが満場一致で承認されました。

#### 第7号議案 その他

執行部から来年度の東鍼連の開催日などの変更について説明があった。

今年の5月の理事会で全鍼大会が今後7月の第2週の日曜日と月曜日に行うことを原則とすることになったので、今のままでは東鍼連大会があいだに一週しかないために会員の参加が大変難しくなる。そこで、来年からは9月の第2週の日曜と月曜に行いたい。全会一致承認する。

次に、役員改選が行われ東鍼連会長に、福島県師会の梅宮光男氏が選任されました。

新会長の挨拶とともに来年度の開催地の報告が行われました。

平成18年9月10日・日曜日、11日・月曜日。

場所 福島県穴原温泉ホテル「吉川や」で開催します。

以上ですべての議事が午後2時45分頃に終了した。

今回は、全鍼大会と同時開催だったために変則の時間設定となりました。

来年は、9月になりますが多くの会員に参加して頂きと思います。  
以上で報告を終わります。

## 学術研修会報告

副理事長 山本 孝一

平成17年度学術研修会は、10月2日(火)午前9時30分より例年のように盲学校視聴覚室、  
按摩室に於いて本会、視覚障害者福祉協会、盲学校同窓会共催で開催されました。

- 15 -

講師は笹田三郎先生(国立神戸視力障害センター教官)、先生には一昨年にもご講演頂いております。

演題は「あんまマッサージ手技療法の幅と深さを高める実技セミナー」、今回は1時間ほど講演  
して頂き按摩室に移動し実技が指導されました。

気をめぐらせる体操、治療の深さを増す診察、施術、評価、そして治療の幅を広げる多様な手技が指  
導され、50名余の受講者は明日からの臨床に、ひとつでも取り入れようと熱心に受講されておりました。  
午後3時終了しました。

## 平成十七年度 青年部報告

青年部長 佐藤 明

〔一〕 第五回保険部・青年部共催研修会 ―保険推進と介護予防事業について―

日時 平成十七年五月二十三日(月) 午前八時三十分～午前十時三十分

会場 ホテルサンルート一関

内容

一. 資料説明と情勢報告

二. 講演と実技

「介護における機能訓練、筋カトレーニング」

講師 理学療法士 管野勝之氏

参加者三十一名が時間が限られている中、熱心に研修に取り組み、今回から参加者に修了証書が授  
与された。

〔二〕 東鍼連青年女性部長会議報告

平成十七年七月十六日夜、古牧温泉にて開催

議題

一. 第八回東北青年女性交流会について

日程 十月二十九日(土) 午後一時～三十日(日) 午前十二時

場所 福島県内

内容 ①介護保険と予防に関する情報交流

②災害時のボランティア活動について

③スポーツセラピーの実際について

二. 平成十八年度東北青年女性交流会の件

- ・開催することを決定
- ・開催時期は、次の会議で決める

### 三. 東鍼連青年女性部長会議の存続について

- 16 -

- ・全鍼師会青年局女性局の解体と組織強化部の新設により、今後の全国青年女性部会議のありかたに関係なく、東北ブロックの会議は存続することに決定

### 四. その他

#### ①宮城県からの提出議題

- ・介護保険事業の会員ネットワークの設置について一情報収集とその共有化を図る  
\*設置決定され、会員個人によびかける

### 五. 北海道師会研修会について

九月三日～四日（土・日）開催 \*参加して交流をはかる

## 〔三〕 第四回全鍼師会大会 in 古牧

### 一. 全国青年女性部会議報告

- ・平成十七年七月十七日（日）分科会のひとつとして開催された。
- ・前青年局長からこの数年間の組織改変に至る経過説明がされた。
- ・本年度に限って組織強化部の担当で開催され、青年局女性局解体の件もあり、今までに無い活発な意見交換になった。

#### 〔決議事項〕

- ・青年女性部会議は来年も分科会として開催する
- ・運営はブロック代表で行う
- ・ブロック代表会議は小竹成樹組織強化部長（奈良県師会）が理事会で開催を要望する

### 二. 「流行る治療院を増やす会」分科会

～みんなで考える明日の経営～

- ・青女コミュニティ数年間の集大成である「経営素材ガイドブック」作成の経緯を紹介
- ・班別討論会とその発表があり、ITやHPの活用、マスコミの活用、学術、人格の向上、介護保険事業の推進のほか、治療院のブランド化などがあげられた
- ・「経営素材ガイドブック」のバージョンアップとDVD化などの意見が多くあげられ、進められることとなった。

### 三. 介護予防分科会

「未病治という名の介護予防～介護保険制度の改正に向けて」と題して

- ・神奈川県師会の小川真吾さんらが講師となり進められた。制度の概要と、東京都老人総合研究所で出している資料などをもとに、神奈川方式の紹介として、今後に想定されるあ・は・き師として取り組み可能な「筋カトレーニング」の実技についての研修だった。

- 17 -

## 〔四〕 第八回東北青年女性交流会報告

平成十七年十月二十九日(土)～三十日(日)に郡山市「月光温泉クアハイム」で開催された。岩手県師会から青年部長が参加。今回も北海道師会から七名を含む、総数三十名の出席があった。開会式では、梅宮東鍼連会長のあいさつをいただいた。

一. 講演 演題「災害ボランティアについて」

講師には、(社)福島県師会保険部長、日本赤十字社防災ボランティアリーダーでもある平栗辰也氏。ボランティア活動の目的は、「被災者自らが立ち直っていくことを支援する」ことであり、自立の下の活動の重要性と意義を強調された。

豊富な知識と多様な研修経験からなる講話は、災害常襲地帯に住む者にとって大変興味深かった。講師自身の災害ボランティア経験はないそうだが、緊急時の予備知識や心構え、注意点等、日頃からの意識の持ち方の大切さを学んだ。

二. 座談会「介護保険事業に関して」馬場ブロック長を座長に、現在の情勢や各自の情報交換を行った。その中で、話題になったことを挙げてみる。

- ① デイサービスセンターを現在建設中
  - ② 治療院に併設デイサービスセンターを移転、拡張して建設中
  - ③ 現在デイサービスセンターを経営、来年の介護予防に向け体制変更を模索（介護予防向け新店舗を開設検討中）
  - ④ 現在デイサービスセンターを経営、厳しい経営状況
  - ⑤ 過去にデイサービスセンターを経営、中止した
  - ⑥ デイサービスセンター経営を検討したが、当面中止
  - ⑦ デイサービスセンター経営を検討中
  - ⑧ 現在デイサービスセンター、ホームヘルパー派遣を経営、利益より地域貢献を重視
- \*詳細内容を求める方は、佐藤青年部長まで。

三. 部長会議報告

① 来年の開催について

日程 十一月二十五・二十六日 第四土・日

会場 山形開催 テーマ 介護保険関係、スポーツセラピー関係

② 交流会の名称について

東鍼連〇〇交流会とし、開催県名を用いる、そうすることで、全会員対象にできる

③ 介護保険ネットワークについて

電子メールで情報交換できるよう構築する

四. 講演二 演題「スポーツトレーナーの実際」

講師には、日本体育大学スポーツ局勤務の斉藤仁拓（よしひろ）氏をお願いした。

アテネ五輪野球チームに帯同するなど、各種スポーツチームや選手に帯同しコンディショニングやケアなどの裏方として支えるなど、様々な経歴があり、その実際の仕事や現場の姿をスライドを交えながら講話された。

鍼灸マッサージ師として、かかわることの出来るひとつの領域として、既にボランティア活動を始めている人や関心を持つ人も多くなるなど、今後の業界発展の活路と方向性と

なり、研修を重ねる必要を感じた。今回の交流会ではじめて研修テーマとして取り上げられた意義は大きいと思う。

#### 五. 閉会式

主催者の、福島県師会及びブロック長の馬場雅弘氏と梅宮東鍼連会長のお礼の挨拶があり研修が終幕した。以上です。

## 平成十七年度 保険部報告

保険部長 伊藤 庸一

### 1、県師会の保険取扱い状況（平成16年3月末調べ）

師会名	金額（円）	件数
二戸	345,140	8
盛岡	10,401,730	142
水沢	26,806,000	715
一関	864,000	24
大船渡	2,163,960	53
合計	4,590,830	942

### 2、東北6県の保険取扱い状況

県名	金額（円）	件数
青森	17,990,000	578
岩手	40,580,830	942
宮城	580,980,000	5642
秋田	42,858,000	1625
山形	47,833,000	3657
福島	30,211,000	1177

- 19 -

### 3、青年部共催研修会

平成17年5月23日（月）午前8時30分から一関市駅前の「ホテルサンルート一関」を会場に開催致しました。「保険推進と介護予防事業について」と題して、始めに平成16年10月1日に発出された、厚生労働省保険局医療課長通知、保医発第1001002号「はり師、きゅう師及び按摩・マッサージ師の施術に係る療養費の支給の留意事項等について」の内容説明に加え、平成17年3月30日に出された「同通知の一部改正について」も説明を行った。又、介護予防事業については介護保険担当の佐藤明先生から現状説明をしていただき、その後我々の日常の治療にも取り入れられるような「介護における機能訓練、筋力トレーニング」の方法を理学療法士でもある管野勝之先生、下佐理事長の両先生を講師に迎え実技を中心に研修を行いました。研修会参加者には下佐理事長より修了証書が授与されております。

### 4、東鍼連担当者会議

平成17年7月17日、午前10時から青森県三沢市「古牧温泉」を会場に開催されました。

- 議題は
- 1、各県の保険取扱い状況
  - 2、各県師会の問題点と具体的対策と経過
  - 3、東鍼連及び全鍼師会等への要望
  - 4、介護保険への参入等でありました。

各県担当者より「同意書が取りにくくなってきた」「不支給が増えた」との声や「自賠責保険の統一用紙を作ってほしいし、統一料金を決められないか」「介護保険参入への具体的マニュアルを作れないか」等々活発な意見が出された。

それぞれ取り組み方、問題点等を理解しながら、今後厳しくなっていくであろう保険取扱いに対応していくことになることを確認した会議でありました。

#### 5、全国保険担当者会議

平成17年11月20日（日）、21日（月）の両日、宮城県松島町「ホテル壮観」を会場に全国から48名の参加のもと開催されました。

議事に入る前に、自賠責保険の取扱い用紙を作成したので、全国統一用紙として使用されたい旨の説明と、我々の保険請求額は、平成15年度は約134億円で前年の2倍の伸びになっているが、今後の展望として、医師会が大変な危機感をもってきているなかで鍼灸マッサージだけが、このまま伸びていくわけがなく、本年の施術料金改定や、これからの保険請求にも出てくるだろうと話があり議事に入る。

- 20 -

#### 1日目は

- (1) 各県師会報告、(取扱高報告や今後の展望について)

◎取扱高全国1位は大阪の約39億円、次に神奈川の約20億円という報告であったが、今後財政が逼迫していることを考えれば、全体的に取扱いが厳しくなってくるであろう、との話であった。

- (2) 通知発出後の動向について(同意書や往療について)

◎往療については保険でやると安いから良いというのではなく、必要があるから行くという考えで取り組んでほしいと吉井局長の話であった。又、議連との関係も視野に入れながら、医師会との繋がりも大事であり、各県師会でも同様の働きかけをしてくよう話もあった。

#### 2日目は

- (1) 混合診療と「はりきゅう」の取扱いについて

- (2) はりきゅう施術に係る併給併用について

◎我々の現在の保険取扱いは矛盾だらけの中で取り扱っているのが適当にではなく、合理的且つ適正に判断して扱ってほしいと話された。

## 共済部

平成16年度に回収した廃鍼は約8Kgでしたが、業者に出す処分BOXに余裕があるため、17年度分を回収後処分いたします。



## 保険推進特別委員会

- (1) 平成17年5月23日(月)、一関市駅前「ホテルサンルート」を会場に青年部と共催で開催した研修会において、保医発第1001002号通知(平成16年10月1日発出)、「はり師きゅう師及び按摩・マッサージ指圧師の施術に係る療養費の支給の留意事項等について」と同通知の一部改正について(平成17年3月30日発出・保発医第0330001号通知)の説明を行う。
- (2) 同日、上記通知の墨字版、点字版を配布しました。
- (3) 点字版あるけーる1、2については平成18年3月の理事会以降に師会長より配布予定です。

平成17年5月の総会において、「関係各所に提出書類の雛形があれば地方師会でも取り組

- 21 -

みやすい」との意見が出されましたので、下佐理事長、佐々木金男無資格対策特別委員長の協力を得ながら、市長、商工会等に提出する要望書を3月の理事会を目標に作成予定です。

\*保険取扱い、自賠責、教員互助会、往療治療、介護保険との関わり方等の意見、要望、質問がありましたなら連絡いただきたいと思います。

## 「学術論文」

### 金属粒貼り付けによるダイエットー健康のための漢方ツボ療法ー

佐藤 明

我々鍼灸指圧治療師ならではの、経絡経穴を活用した「ツボ療法」を、ダイエットに応用してみたところ、予想以上の成果と反響があり、これを論文にまとめ、平成十六年の東鍼連学術大会において、研究発表する機会をいただきました。今回これをダイジェスト版で会報に掲載させていただくことになりました。

近年、生活習慣病などが急速に増加し、その表看板ともいえる肥満抑制と予防に対処することこそ、肥満に悩む多くの現代人の念願ではないかと考えました。

患者さんにとって肥満解消は、痛みの解消と同じくらい、重要になっていることを再認識中で、「金属粒貼り付けによるダイエット」ー健康のための漢方ツボ療法ーを作り上げたいという気持ちが強くなりました。

正しい知識や方法を理解し、飽きずにあきらめずに、明るく楽しんで続けられるようサポートするのがコツだと考えています。最初は努力が必要ですが、徐々に習慣化させることで、ストレスや苦痛も感じないで心身がリラックスし、体調が良くなっていくという実感が伴い、三ヶ月もたつ頃には習慣化するようになってきます。

さてその方式とは、腹部と手・足の要穴に金属粒をピンセットで貼り付けるという簡単なものです。

腹部は任脈上の中院、水分、気海、関元穴を用います。手では大腸経の偏歴か温溜、三焦経の三陽絡、小腸経の支正。足は胃経の足三里か豊隆、胆経の陽稜泉か外丘、膀胱経は飛陽です。

陰経では、牌経の三陰交を使用し、いずれも圧痛、硬結、筋ばり等の反応を選んで取穴し金属粒を貼付けます。

事前準備として、体重、体脂肪、内臓脂肪、肥満度、基礎代謝、体年齢の六項目をヘルスマーターで数値測定し表に記入します。週二回の金属粒貼り直し施術をする際にチェックし、比較対照に役立つほか心理的な意欲を増すことにもなります。

ここで、個人的な見解を述べさせていただきます。

臍を境にした上方、大腹を陽経と上半身の診断に用います。臍の下方、小腹を陰経と下半身の診断に用いるとします。組み合わせますと、大腹小腹とも虚満で、上半身・下半身共肥満型が陰虚陽虚型。大腹虚満で、上半身肥満型が陰実陽虚型。小腹虚満で、下半身肥満型が陰虚陽実型という三つのタイプに分けると仮定します。

さらに、肥満を虚証と仮定し、肥満の最大原因である、ストレスから引き起こされる生気の虚損が、臓腑経絡十二経脈の不均衡となり、心身のバランスを乱し、過食が続き肥満になるのであり、補法をすべきと解釈されます。

故に、金属粒を長期間貼り続けることは、補法であると位置付けています。参考までに、陰実陽虚型であれば中院、水分穴と手の陽経から選穴し、三陽絡も入れます。陰虚陽実型は気海、関元穴と足の陽経から選穴し、三陰交も入れます。陰虚陽虚型は、中院、水分、気海、関元穴と手、足の陰経陽経の要穴を適宜選びます。

それでは、一般的に多いと考えている、上半身・下半身共肥満型で陰虚陽虚型の症例を挙げてみます。

患者、三十三才の女性の方です。ダイエット開始、平成十六年二月四日。体重八十六．六kg、体脂肪三十九．九％、体年齢五十八歳、内臓脂肪レベルや肥満度も高いという判定でありました。

開始一ヶ月で一．一kgの減、二ヶ月で二．四kg、三ヶ月で四．〇kg、四ヶ月で六．一kgの体重減でした。

体脂肪は、開始一ヶ月で一．五％の減、二ヶ月で一．二％、三ヶ月で二．二％、四ヶ月で三．三％の減となりました。

体年齢では三歳の若返り、肥満度や内臓脂肪レベルも「高い」から「やや高い」に改善しています。そして、慢性の肩こり、腰痛がなくなるなど、健康度が改善され、大変喜んでいます。そして、開始から一年間継続され、体重は五．二kg減、体脂肪は二．二％減、内臓脂肪レベルも「やや高い」を維持しました。

また、短期間での変化率の高い症例では、二十三歳の女性が、三ヶ月間で八．二kg減、体脂肪が六％減、体年齢では、四十四歳から七歳若返った例があります。この方は最も熱心に体操などに取り組み、慢性の肩こり腰痛も改善しています。

終わりに、未病予防の理念と豊かな治病力を持つ東洋医学の学術を生かし、詳細な理論付けと精度の高い施術による症例を集めることで、より客観的で再現性のある研究に高め、健康のためのダイエットと肥満解消に応じて行きたいと思っています。

## 全国各地で賠償事故多発！

本年度も全国各地で医療過誤をはじめとした賠償事故が多発、続発しております。いつ賠償事故の当事者になってしまわれるかわかりません。

権利義務意識の高まりと共に、ちょっとしたことから賠償問題に発展いたしますので、心してください。

### 東北 4 県における医療過誤例

被害者	事故形態	事 故 状 況	賠 償 額
女性 76 歳	骨折	うつ伏せで脊柱の両側を指圧した時左肋骨が骨折した	¥100,000
男性 67 歳	骨折	伏臥位で背部を指圧中、ボキッと音がし左肋骨が折れた	¥252,200
女性 55 歳	火傷	治療中、灸が落ち、水泡を作るほどの火傷をした	¥81,790
女性 26 歳	気胸	肩上部、肩甲間部に斜鍼施術した施術 1 時間後背部の苦痛の訴えあり気胸と診断された	¥535,870
女性 56 歳	骨折	腰痛の訴えあり、側臥位でマッサージをしたところ、ボキッと音がして骨折	¥179,860
男性 40 歳	気胸	頸肩背部に 20 分程置鍼、施術後呼吸困難出現。一度は痛み薄らぐも帰宅後呼吸困難となり入院	¥146,377
女性 35 歳	症状悪化	腹部にマッサージ、低周波電療 10 分ベットから起き上がる時にボキッと音がして起き上がれなくなる	¥320,454
女性 36 歳	骨折	背中のコリをとろうと背部ストレッチを行う際、腕を引っ張ったときに右上腕骨を骨折した	¥1,674,906
女性 68 歳	顔面挫傷	スタンド式赤外線装置を誤って倒し患者の額に当て、3 針縫う切傷を負わせた	¥50,930
女性 73 歳	挫傷	患者宅にて施術のため畳から車いすに移動させる際支えるのが遅れ転倒し右前腕を負傷させる	¥22,055

平成 17 年 9 月 日本鍼灸マッサージ共同組合

- 25 -

## 平成 17 年 国内、県内 10 大ニュース

### 国 内

- ① 衆院選で小泉自民党が 296 議席の歴史的な大勝
- ② 尼崎の JR 西日本脱線事故、107 人が死亡
- ③ 耐震強度データの偽装で不安広がる
- ④ 郵政民営化法が再提出され成立
- ⑤ アスベスト（石綿）被害深刻に
- ⑥ ネット企業とテレビ局の経営攻防が激化
- ⑦ 少年、少女をめぐる残虐な事件が相次ぐ
- ⑧ 小泉首相の靖国参拝で日韓との関係冷却
- ⑨ 有識者会議が女性・女系天皇容認の報告書
- ⑩ 景気の踊り場脱却で株価一時 1 万 6 0 0 0 円台

## 県内

- ① 合併進み35市町村体制に
- ② 栃乃花、幕内返り咲きで11勝
- ③ 衆院選、民主3人、自民2人当選
- ④ 平泉、世界遺産登録へ前進
- ⑤ 「岩手りんどう国体」開催
- ⑥ 「スポレクいわて2005」開催
- ⑦ アスベスト問題、波紋広がる
- ⑧ 公取委、建設91社に排除勧告
- ⑨ 岩手競馬、コスト削減で再建へ
- ⑩ ダイエー盛岡店閉店

## 各師会の活動状況及び会員の消息

盛岡・花巻・北上・水沢・一関・大船渡・釜石・宮古・久慈・二戸

## 盛岡師会報告

総務部

今年の盛岡師会は新入会員に米沢真奈美、渡辺豊彰、佐々木裕樹、そして途中から波紫康人の4氏を加え48名でスタートしました。

盛岡師会からは県師会の理事長、副理事長、さらには無資格対策委員会と定款・運営規定改正委員会

- 26 -

の委員長を出すなど、県の中核となって活躍しています。また、盛岡師会独自の事業としては、市と契約して老人施設4箇所へのマッサージ師派遣も今年から始まりました。

次に盛岡師会の主な行事を上げます。

- 4月17日 定例総会及び第1回役員会
- 9月 1日 第2回役員会
- 11月 3日 盲人ホームでのマッサージボランティア
- 11月20日 西厨川老人福祉センターでのマッサージボランティア及び第3回役員会
- 12月10日 忘年会
- 18年 2月 第4回役員会予定

他、上部団体行事への参加、協力。テープ会報発行など。

## 花巻師会報告

会長 坂本 昭市

当師会では、今年度大きなニュースがふたつあります。

ひとつは平成16年に、あはき師免許を取得した22歳の青年、倉田伸也が入会した事です。現在彼は勤め人ですが行く行くは市内に治療院を開業されるものと期待しております。

もうひとつは長い間、花巻温泉で働いていた佐藤良一さんと大川イトさんが活動拠点を自宅に移し治

療院を開設された事です。おふたりは私の20年も先輩にあたる年齢なのですがその意気込みには若者をも凌ぐ元気さで大いに学ばなければと思っております。 以上

## 北上師会報告

会長 高橋 隆

4月20日、北上ホテルメッツに於いて定期総会を開催。

議題として県本部より要請があった、平成19年度県通常総会を本師会に於いて開催について協議した結果、会員も少なく辞退することに決しました  
なお奉仕活動は行いませんでした。

- 27 -

## 水沢師会報告

総務部

この時期、何十年ぶりと言われる大雪と低温に見舞われ、早々と根雪になってしまいました。世の中も自然界もどことなく狂いを生じてきたようです。また地震の多いこの頃で騒がれている大掛かりな宮城県沖地震が間近いのではという不安にもかられます。報道されるニュースも相変わらず暗い内容のものが多く溜息をつかずにはいられません。

今年水沢師会では、無資格者対策の一環として6月末から7月なかばの間3日間半日ずつではありましたが及川清隆市議の協力を頂き、いろいろと情報を集めたものを資料としてまとめたものを携え、水沢、江刺市役所、社協、保健所、商工会議所、各報道機関に出向き、無資格者がはびこることにより、現在我々がどのような状態にあるのかお話をし理解を深めて頂きました。又、無資格者を生み出すような講習会への会場提供をしないしてほしいや（我々の業種を取材する際、資格の有無を確認してほしい）などの要望を出してきました。又、8月9日の「はりきゅうマッサージの日」には地方新聞に広告を出しております。

無資格者を締め出すには、一般の人たちが資格を持っている業者か否かにもう少し神経質になってもらいたいし、我々有資格者ももっと知識を深め技術を磨く必要があるのではないかと考えております。

4月10日 定期総会開催

6月 5日 第一回役員会

11月13日 奉仕活動実施

12月 4日 第二回役員会

1月29日 新年会

3月 5日 第3回役員会

## 会員動向

高橋等さんが体調を崩され二度入院し現在自宅療養をしております、一日も早いご回復をお祈りしております。

## 新会員紹介

4月から後藤順哉さんが本会に入会しました。現在江刺クアハウスに勤務しております。どうぞよろしく。

## 一関師会報告

師会長 千葉 謙一

今年の冬は、暖冬かと思っておりましたが12月に入り積雪もあり寒さも厳しいように思います。

さて、今年を振り返ってみますとJR西日本の脱線事故、1級建築士による耐震偽装設計、児童殺傷事件など愕然とする事件事故が多すぎました。

明るい話題として、株式市場が活況を呈しているようです株価は、6ヶ月～1年先を見るといわれておりますので来年度は、景気低迷からの脱却を期待するものです。

わが業界に目を転じてみますと来年度に盛岡市に柔整・鍼灸の学科ができます。視覚障害者のあはき業者にとって厳しくなると思いますがそれを乗り越えてお互い頑張りましょう。

一関師会の12月現在の会員数11名。

4月17日（日曜日）

17年度定期総会 福祉センターにて 7名出席

17年度本部通常総会の当番師会としての役割分担等を決める。

5月22日（日曜日）～23日（月曜日）

第64回17年度本部通常総会一関大会開催する ホテルサンルート一関

43名の参加をいただく会員の皆様方のご協力を頂きまして盛会に終了することができました。

心から感謝申し上げます。

6月12日（日曜日） 慰問治療（1回目）

老人ホーム福光園・関生園（かんせいえん）37名施術する

17年度本部通常総会の決算報告をして承認される

7月18日（日曜日）～19日（月曜日）

第4回全鍼師会退会in古牧、3名参加する

9月4日（日曜日）

慰問治療（2回目）老人ホーム福光園・関生園の39名施術する

9月25日（日曜日）

第24回一関国際ハーフマラソン大会ボランティアマッサージ 107名施術する

水沢師会長、北上師会長をはじめ5名のご協力をいただく

当日は、雨が降り肌寒い日にもかかわらず本当にご苦勞様でした

無資格業者の取り組みについては、会員からの情報をもとに保健所の担当者と速やかに連絡を取り合って対応を心がけております。

## 大船渡師会報告

会長 佐藤 明

### 〈活動報告〉

四月 三日 大船渡師会定例総会開催（大船渡市 百樹屋）十名出席

五月二十二日 岩手県師会通常総会（ホテルサンルート一関） 六名出席  
六月 十二日 特養老人ホーム高寿園（陸前高田市） マッサージ奉仕活動 九名出席  
九月二十五日 （午後二時） 特養老人ホーム富美岡荘（大船渡市） マッサージ奉仕活動  
（午後三時三十分） 第四回大船渡保健所職員の講演と懇談会  
（県立福祉の里センター） 各九名出席  
十二月 四日 年末恒例忘年会（陸前高田市 松毬屋） 九名出席

## 〈まとめ〉

大船渡師会平成十七年度の活動の成果は、地域内の無資格者対策の面で前進があったことです。即ち、気仙ローカル紙である東海新報紙上に広告を毎月二回掲載したことにより、市民へのアピールが奏功したと考えられ、無資格業者、新聞社が大船渡保健所に問い合わせが増え、広告基準の指導と啓発となり、無資格業者の広告が激減したことです。これは、四回目を数えた大船渡保健所職員との懇談会により明らかになりました。支部では、一年間継続掲載をすることにしました。懇談会の情報交流によるメリットが増しており、継続して行きたいと思えます。未実施の支部も是非取り組んでみてはいかがでしょうか。

会員動向は、現在九名ですが、活気が増し交流と親睦を深めながら、地域に信頼され存在感のある業団になりたいと思っています。

一年間ありがとうございました、関係各位に御礼申し上げます。

- 30 -

## 釜石師会報告

会長 佐々木 至

猛暑の夏をやっと乗り越え地球温暖化を思わせる暖かい秋が過ぎあつという間に師走になりました。12月中旬になって突然第1級の寒波が押し寄せ観測史上最大の大雪に見舞われた所が多く聞こえてきます。この寒波に灯油の値上がり、政府の弱いものいじめがあいまって寒い寒い冬に身も心も震えているのです。

本会は今年に入って岩手県の無資格対策を推進させるために積極的に学習会に参加したり、若い古川さんを先頭に立て二度の保健所交渉を持ちたりして動きを見せました。

今月にはいってからも知恵をしばって取り組んでいます。簡単にはいかないのが実情です。

釜石師会は県の総会後の6月に総会を開催しました。内容は主に無資格対策でした。

奉仕活動は7月に特養老人ホーム愛善の里、10月には特養老人ホーム五葉寮に行きました。この時の模様は東海新聞で両方とも紹介してくれました。新聞には実際に治療している時の写真数枚と文章は会員数、それにボランティアの歴史などが書かれていました。

釜石師会の会員の状況を二、三書いてみます。

約半世紀にわたり釜石師会の屋台骨を支えてくれた上田博也さんが今年の9月で退会されました。上田さんは当師会の一番古い会員で盛岡の高松に家を建てて子供さんとお孫さんと、もちろん奥さんと暮らすことになったのです。上田さん、釜石師会の活動にご協力頂き本当にありがとうございました。これからの新しい生活を健康に留意され大いに楽しんでください。若手のホープ古川さんは春に交通事故に遭われ大変な思いをされたようです。古川さんは無資格対策の先頭に立って奮闘中です。若手でないと動きが鈍く、まして視覚障害者の我々は思うようにいかないのです。

菊池守さんの住所が遠野との合併にともない変更になりました。

新住所 遠野市宮守町下宮守 28-37-8

寄松さん、留畑さんは元気で営業に励んでおります。

- 31 -

## 宮古師会報告

会長 小野 一茂

我が師会は会員が4名と少ないですが皆元気で何とか頑張っています。

仕事の方は世の中の景気の悪さで、いまいち会費を納めるのも大変な状態です。皆様のところはいかがですか。

それでは平成17年度の報告を致します。

4月17日 定期総会を金浜身障者センターに於いて開催

5月22日 県通常総会一関大会へ2名出席

9月 3日 ハートフルフェスタ2005が宮古市「ナード」で開催されマッサージ奉仕として参加する

10月22日 山田町の特別養護老人ホーム「平安荘」にてマッサージ奉仕

## 久慈師会報告

玉澤 孝志

会員の皆様にはお元気で日々の臨床、会の活動に取り組みおられる事と思います。

当師会では平成17年3月31日付けで岩本会長が退会され、現在久慈市の会員がひとり、洋野町の会員が2名、計3名で活動しております。

昨年は10月に久慈地区の介護協会の依頼で「家庭で出来るマッサージ」と題して講演と実技を実施してまいりました。

18年も皆様にとって良い一年でありますようお願いいたします。

## 二戸師会報告

広報部

会報をごらんの皆様いかがお過ごしでしょうか？

さて、今年も会報を書く季節となりました。本当に一年のたつのは早いものですね。

- 32 -

今年も、国内外ともにいろんなことがあった年でした。特に今年は、世界各地で自然災害が多い年でもありました。それにより、多くの方々が亡くなられたり、いまだにすむ場所がないという方々がたくさんおられるようです。また、イラク情勢は不安定のままの現在にいたっております。

国内では、今年も自然災害が多くあり、尊い命と財産が失われました。どうも、この頃は地球が異常を起こしているような気がします。

昨年の新潟での地震による復興がまだ進んでいません。そんな中、八月には東北地方などを初め、大



きな地震も在りました。ただ、台風などは割と少なく、それによる被害も昨年よりは少ないように思いました。それから、今年九月に衆議院が解散となり、郵政民営化を国民に問いたいとのことで選挙が行われました。その選挙では、自民党が圧勝しました。今後の日本の行方がどうなるか見守りたいと思います。

とにかく、次から、次へといろいろなことが在りすぎて、ついて行くのが大変です。

明るい話題としては、今年のプロ野球で、ロッテマリーンズが交流試合、パリーグを制覇し、さらに日本シリーズアジアシリーズとすべてを優勝で飾りました。

さて、私たちに関することでは、相変わらず無資格問題が今年も大きい問題でした。

昨年、各県での取り締まりについて議会で採択されたことも在ってか今年、無資格業者などの逮捕が相次ぎました。今後も、地道な活動することにより期待できると思います。ただ、有資格者の中にも悪質な行為を行い逮捕されるような事件もありました。こんなことだと、無資格者のことだけをいっている場合ではありませんね。

まずは、有資格者が心してまっとうなことをしていかないとだめですね。

それから、今年、全鍼大会がお隣の青森で行われました。すばらしい大会で、勉強にもなりました。今後、私たちの仕事に役立てていければ良いなと思います。

さて、二戸師会の事業報告と、会員の近況をお知らせします。

4月15日 定期総会開催

今年の総会では、無資格問題に関心があり大いに議論しました。

5月22-23日 県総会が、一関の「ホテルサンルート」を会場に行われました。

- 33 -

また、青年部と保険部主催で介護予防についての研修会と実技が行われ参加しました。

7月16-17日 東鍼連並びに全鍼大会が青森県三沢市の古牧温泉にて開催され参加しました。

9月25日 ふれあい祭が、二戸駅の隣にある物産館「なにゃーと」で行われ視福協会と、二戸師会との協力でマッサージ体験コーナーを担当しました。利用者が多くて時間いっぱい行いましたが何人かの方々は断らせていただくほどでした。

11月 2日 軽米「花の里」において奉仕を行った。

11月16日 二戸にあります「わくわく荘」において奉仕を行った。

2月には、例年行っております保健所長さんとの懇談会並びに研修会を行う予定にしております。

昨年度の、保健所長さんとの懇談会について2月16日に、二戸地方振興局保健所、健康増進室において行いました。内容は、小泉所長さんによる「うつ病」について講演して頂き、その後無免許取締りについて懇談しました。

次に、会員の近況について

今年、どなたも体調など崩されたりした方はありませんでした。ただ、暮れに近くなってから泉山助六さんが最愛の奥様を亡くされました、心からご冥福をお祈り致します。

次に、明るい話題として、当師会の前会長でもありました山本孝一さんが、10月の25日に医療功労による県知事表彰を受けられました。本当に喜ばしい限りです。今後もわが師会から後続くようになればと思います。

以上で二戸師会より報告を終了します。

## 編集後記

事業部長 山本 孝一

耐震偽装、例年になく大雪などで暮れました。

来年はこの後始末から始まるだろうとおもいます。我業界では無免許者対策や保険取扱いなどの課題があります。皆様のなご一層のご協力をお願いします

今年も会報第38号墨字、点字、テープ版を発行します、総会の資料として頂きたいと思います。

- 34 -

社団法人 岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会  
平成十七年度会報 三十八号  
平成十八年三月一日発行

発行人 理事長 下佐征昭  
〒〇二〇 - 〇一一六 盛岡市箱清水一丁目三十六番五号  
電話 (〇一九) 六六一 - 六二七七

編集責任 副理事長 (事業部長) 山本孝一  
〒〇二八 - 六一〇一 二戸市福岡字在府小路五十二 - 四  
電話 (〇一九五) 二三 - 三九六八

事務所 〒〇二〇 - 〇一一六 盛岡市箱清水一丁目三十六番五号  
下佐征昭方

事務局 理事長 下佐征昭  
電話 (〇一九) 六六一 - 六二七七  
岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会  
郵便振替 盛岡 (二八) 一九八三三

印刷所 沢倉印刷株式会社 二戸市福岡字城ノ外三十八番地  
電話 (〇一九五) 二三 - 三一〇七

- 35 -

- ・ 鍼灸用具
- ・ 物療器械
- ・ 健康器具
- ・ 治療補助材料
- ・ 開業諸設備等

# (有)ヤマキン医療器

〒034-0084 青森県十和田市西4番町 8-39

TEL 0176 (25) 3666

TEL・FAX兼 0176 (23) 9138

## 商品紹介

塗るだけで効き目が分かる

### バイオフィリーズ ➡ アイシングマッサージジェル

チューブ113g  
2,800円

痛み、ギックリ腰、ひざ痛等に

### かにす ➡

100cc  
2,700円

溶かした「キトサン」と「酢」により肩こり、張り、ツッパリに老健施設等にも使用されています

### ひざホットゲル ➡

100g  
2,500円

マッサージしながら塗りこんで頂くと血行を促進し、あったか感が持続します。塗って乾いてから5分以内に患部がぽかぽか2～3時間持続します。  
(個人差があります)